

令和元年度第 30 回東北地区聾学校 P T A 連合会研修 大会福島大会が開催されました。

7月12日（金）、13日（土）に郡山ビューホテルにて「生きる力を育むためには」の大会主題のもと、協議会や教育懇親会、講演会が行われました。

〔1日目〕 7月12日（金）

（1）開会式

東北地区聾学校 P T A 連合会会長の挨拶、東北地区聾学校校長会会長の挨拶、福島県教育委員会教育長の挨拶の後、永年にわたって本会の発展に寄与された2名の方に連合会会長より感謝状を贈呈いたしました。



（2）協議会

～テーマ「生きる力・自立する力を育てるためにそれぞれの成長過程で大切なこと」～

Aグループ（幼稚部・小学部）、Bグループ（中学部）、Cグループ（高等部）に分かれて、皆が日頃感じていることを出し合いました。そして、共感できることやうまくいかないこと、他の人に聞いてみたいことなどを話し合い、各グループの報告と全体での意見交換を行いました。その後、岩手県立盛岡聴覚支援学校長の石川敬先生より指導助言をいただきました。子どもの発達段階に合わせた生きる力、一番身近な生きる力になるのは家族であること、家庭教師サリバン先生の教育、テレビドラマ「大草原の小さな家」の話など

形式的でなく自然にお互いの考えを交わすことの大切さや正しいことだけでは学べない生きる力、やわらか頭をどうつくるかなどをお話しいただきました。



(3) 教育懇談会

全国ろう学校PTA連合会顧問の先生からの挨拶、乾杯の後、東北地区の保護者や教員が歓談し、情報交換を行いました。各学校の紹介もあり、和やかな雰囲気の中で楽しい時間を過ごしました。



[2日目] 7月13日(土)

(1) 講演会 「聞こえない自分が活躍するために」

～ 宮城教育大学3年 越前 由喜 氏～

バスケットボールとの出会い、聾学校での生活、デフバスケットボール日本代表に選ばれ、初めての国際大会(世界選手権)に出場したことや、大学生活などのお話をいただきました。そして、聞こえない自分が活躍するために、ありのままの自分を受け入れて、自分に何が必要なのかを考え、自信をもつためには思い切って行動することが大切であり、さまざまなことに挑戦しているというお話をいただきました。さらに、皆さんに伝えたいこととして、①出会いを大切に(他人に興味をもつ)②夢中になれるものを見つけること、続けること③自分がされて嬉しいことは自分から他人にしてあげよう④ありがとう・ごめんねは正直にという言葉をお聞きし、心に響きました。



(2) 閉会式

東北地区聾学校PTA連合会会長より2日間にわたる大会についての挨拶がありました。



2日間にわたり「生きる力を育むためには」の大会主題のもと、活発な意見交換がなされ、実りある大会となりました。

ご参加いただきました皆様、遠方よりご参加いただいた方々、本当にありがとうございました。